

第1回日田市中小企業振興推進会議委員発言記録（概要）

日 時：令和元年5月27日（月）14：00～

場 所：日田市役所7階 庁議室

【議題1 委員長選出について】

- ・日田市中小企業振興推進会議設置要綱により、委員長職について説明。
- ・事務局から昨年までの推進会議に引き続き、関谷委員（別府大学名誉教授/大分県よろず支援拠点チーフコーディネーター）に委員長職を務めていただくことを提案。

（委員）

- ・異議なし

（委員長）*挨拶

- ・条例は平成28年4月1日に施行され、長い方は一緒に条例作りをやってきた方もいる。条例ができて丸3年ということ。
- ・日田市中小企業振興計画の2ページに計画期間と見直しの時期について記載がある。「本計画の期間は、総合計画と合わせ2017年度から2027年度までの11箇年とします。ただし、当初の目標数値は平成31年度までの3年間とし、以降4年を基本に目標値を定めます。」ということになっている。
- ・この委員会の目標は、市では計画がちゃんと予定通り進んでいるかどうか、プランはできたのでどういう施策を打って、どういう効果が出ているのか、中にはKPIも入っているの、予定通り効果が上がっているのかとところを皆さんと検討しながら、効果が上がっていなければ施策を見直すということ。
- ・時期的には予算編成に間に合う時期に委員会を開催していただいている。
- ・皆さんもぜひ、この委員会を活性化させて日田市の中小企業・小規模事業者がますます活性化することによって地域振興に結び付くと考えて運営していきたいと思う。

【議題2 日田市中小企業振興計画の概要について】

（事務局）

- ・条例パンフレットや資料（2P～3P）により日田市中小企業振興計画について説明。
- ・日田市中小企業振興計画は、日田市中小企業振興基本条例に規定されている。
- ・条例は中小企業の振興に関し、基本理念や市の責務等、そして基本方針、中小企業施策の総合的かつ計画的に推進することを目的としている。
- ・委員の皆さまには、中小企業や関係者からの意見聴取、中小企業振興のための計画の策定に関わっていただくもの。
- ・日田市中小企業振興計画は、市の商工業振興を対象とした取組。今回は、令和4年までの施策及び目標値を定めるもの。

- ・新たな施策の追加や既存施策の削除は条例改正案件となる。
- ・計画は、P D C Aサイクルにより進捗管理を行うが、推進会議は特にC h e c kの役割。

(委員)

- ・質疑は、特になし

【議題3 計画等の策定スケジュールについて】

【議題4 企業訪問調査について】

(事務局)

- ・資料（4 P～7 P）により日田市中小企業振興計画（仮）の策定スケジュールと企業訪問調査の内容を説明。
- ・本日が第1回目、次回の第2回では訪問調査の結果、H30年度事業の計画達成状況、条例・振興計画の素案を協議していただく予定。
- ・第3回はより具体的な条例・振興計画の協議、第4回は市内部の会議を踏まえた調整、第5回は市民等への意見公募結果報告と条例・振興計画の最終決定となる予定。
- ・中小企業訪問調査は、毎年50社訪問している。訪問は、市内の事業所数に応じ、訪問数を決定している。
- ・聞き取り内容（調査票）は、まだ案の段階だが、昨年に引き続き外国人雇用など、雇用関係を重点的にお聞きすることになる。

(委員)

- ・質疑は、特になし

(委員長)

- ・日田商工会議所、日田地区商工会、日田信用金庫なども景況調査を行っているので、そういったデータも合わせて提供いただけるとよいと思う。

(事務局)

- ・日田市中小企業振興計画11Pの表は、今回の見直しに併せてリバイスしていく予定。

(委員長)

- ・商工会地区のデータもあると、特徴が分かるので検討した方がよいかもしれない。

【議題5 令和元年度 中小企業振興施策について】

- ・別冊資料により令和元年度に日田市が実施予定の中小企業の振興事業について説明

(A委員)

- ・冒頭、市長の方からも農業に力を入れるという話もあった。前回の施策でもそういったところに力を入れると考えていたのですが、8Pの「6次産業サポート事業」の予算が大幅に減額になっているので、その理由をお知らせいただきたい。

(事務局)

- ・担当は農業振興課となるが、昨年度の事業費は、6次産業化に取り組む生産者に対して必要な機械等の整備に助成を行ったようだ。この取り組みで、①野菜のパンケーキ、②エノキや梅を使ったソース、③イノシシを使った肉味噌、④日田産をメインとしたフル

ーツ、⑤ハバネロと米油を合わせた激辛調味料の5つの製品が生まれたとのことです。
今年度は、事業内容を見直しセミナーの開催のみを行うようです。

(委員長)

- ・市長は、①事業承継、創業支援、②まちなか創生、③インバウンド対策、④業種を絞った企業誘致というところに問題意識があるようだった。こういったところも、次回のKPIの確認時に見ておくとよいと思う。

(事務局)

- ・先ほどの6次産業化の実績は、29年度のものでしたので訂正させてください。30年度は3件申請との情報はありますが、詳しくは手元に資料がないのでわからない。

(事務局)

- ・その他全体を通して、ご意見等あればお知らせください。

(B委員)

- ・1点確認として、市の事業の中で住みよいまちづくりとか計画というのはあるんでしょうか。
- ・この計画は中小企業の振興に関するものだと思うが、人口5万人を目標に、というものもある。日田市内で動く分と外から入ってくる人、例えば創業にしても承継にしても。日田市が住みよいまちづくりをするためにどのような施策があるのか、移住に関係してくるとは思うが、働くにしても住みよいかどうかは同然重要な要素になるので、うまくリンクしているのかどうか、確認したかったもの。

(委員長)

- ・まち・ひと・しごと総合戦略の中にそういった項目があるのではないかな。

(事務局)

- ・委員長おっしゃられるとおり、人を呼び込むための施策やB委員指摘の内容は、この「日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で取り組むことになっている。一部中小企業振興に関する施策も入っており、当然目標値はリンクしている。

(委員長)

- ・資料2ページにある、「日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「日田市観光振興基本計画」、「日田市農業振興ビジョン」、「新しい日田の森林・林業・木材産業振興ビジョン」は勉強する意味で、委員さんにお配りすることも検討してはどうでしょうか？

(事務局)

- ・承知しました。

(委員長)

- ・その他各委員から自己紹介等、この会議に対する考えをご発言いただければと思います。

(C委員)

- ・市民のよりよい生活をするためにどうしたらいいか、困っていることがあれば相談にも乗る。過疎化、高齢化、少子化という状況。変えて欲しいということ、買い物支援など

に協力している。

(D 委員)

- ・私自身、外で働いていて家業を継ぐために日田に戻ってきた。人口減による影響か、組合員数も減っている。事業承継がうまくいっているのかどうか。今回こういう機会を与えてもらったことはありがたい。地方創生も、中小企業の我々が自助努力で頑張らなければならない。そういった認識がどの程度あるのかも含め、勉強していきたい。今回の会議では、日田市の中小企業に対してこんなに予算が付けられているということのをどのくらいの中細企業が知っているのか、ということを感じた。

(E 委員)

- ・20代・30代の私たちが住みよいまちとするために、どのようにしてまちを作っていくのかを背伸びをしながら頑張っている。また、青少年の見本となるような活動を行っている。知識や経験はまだ不十分だが、若いからこそ出る意見もあるかと思うので積極的に発言していければと思う。

(F 委員)

- ・結局自助努力が大事。経営者自身がどれだけ改善できるかがキーポイント。どうやったら経営者たちが変わっていくのかということも、この会議で考えていかなければならない。
- ・この前、人口が増えている長崎県の大村市で中小企業振興条例が機能しているとの報告を聞きに行った。要は、産官学金が喧々諤々話し合いを持ち、行政と民間団体が真剣に取り組んだということだった。機会あれば大村市に視察に行つて学ぶのもよいと思う。

(委員長)

- ・日田市はどちらかというと行政主導で条例が出来てきた感があるので、計画や施策についても、民間が自ら作るという姿勢は重要である。

(G 委員)

- ・雇用の部分でお力になればと考えている。

(H 委員)

- ・以前勤めていた会社を辞め、個人事業主となり、昨年法人化した。創業のハードルはかなり高い。経験したからこそわかるものを、この会議で発言していければと思う。
- ・別事業では旅館をテナントやイベントとして活用しているが、県外の人ほど日田が魅力的だと言ってくれている。そういった人が日田で事業を行うために、地元の人とうまく繋げられればと思っている。

(I 委員)

- ・組合では、売り上げが落ちている会社もあつたり、人が集まらないといった問題点がある。当然ながら、会社としての努力は必要だが組合として何が出来るかを若手中心に考えている。
- ・一つ、日田は家具の産地なのだが、誰にも伝わっていないのが現実的なところ。それでいろんな家具の産地を見に行った。何が違うのか、それは皆さん努力している。結果として人が集まる産地になっている。なら、自分たちもやろう、ということになっている。

- ・主に日田のブランディングに磨きをかけている。働き方改革も始まっているが、まずは稼ぎ方を変えていこうと、人が集まる夢のある業界にしていこうと取り組んでいる。買い手も、働き手も日田に集まってきて欲しいと考えているので、この会議でいい施策が打ち出していきたいと考えている。

(J 委員)

- ・商工会議所で事業承継の担当もしているが、これが結構難しい。商店街も郊外に大型のショッピングセンターができ小売りを中心に厳しい状況。個店の特色あるものを持っていないところはどんどん廃業に追いやられている。
- ・唯一希望とすれば、市内企業の良さを高校生に対して発信している団体が商店街の理事になってくれるとっている。これから高校生などの若い人たちと一緒に事業をやっていて、高校生に対するニーズと商店街のニーズが合致して一緒にやっていければ、ひょっとしたら日田に残りたいと思う人たちが出てくるかもしれないと思っている。

(K 委員)

- ・地方創生をテーマに掲げている地方に人を呼ぶ、仕事を呼び込むという形で事業を推進している。人が住むためには働くところがないとなかなか人が来ない。福岡でも、日田はいいねという声を聞いている。
- ・事業承継の話は、ゼロから建物なりを見つけるのはハードルが高いので、空き店舗とのマッチングは必要でしょうし、IT関係のアプリを作ったりというのも大事。企業の形も変わっており、我々に想像できないような新しいサービスも始まっている。そのために若い人たちの発想や、やる気を支えることが重要であり、また既存の商売を行っている方とのマッチングも重要となる。

【議題6 その他】

- ・次回、第2回の推進会議の日程については、8月26日の週で開催したい。
- ・再度お知らせとなるが、今回の計画見直しは、日田市中小企業振興計画の21ページから31ページまでの部分となる。この部分について、今後ご意見をいただきたい。

(委員長)

- ・KPIは次回の会議の前に送付して欲しいが、会議の時間も限られるので同時に委員の皆さんからご意見を募って一覧化し、回答までまとめておいて欲しい。新たな施策の提案も含めて。

(事務局)

- ・承知しました。